

ディートやイカリジンを成分とするヤマビル忌避剤

購入するときの参考になればと、ディートやイカリジンを成分とするヤマビル忌避剤の特徴と残留臭について調べてみました。その他の忌避剤についても載せてあります。後半では、身体についてヤマビルの除去方法とおすすめの動画について紹介します。

(1) ヤマビルの活動時期：ヤマビルは4月～11月にかけて、気温が20度以上でジメジメしている時に活動し、中でも25度以上になると最も活発になります。気温の低い12月～3月の間は落ち葉や石の下などに潜んで越冬します。ヤマビルは足音（振動）、呼気、炭酸ガス（呼気）、体温、体臭を感知してヒトに近づきます。

(2) ディート（DEET）を含む忌避剤：ディートはジエチルトルアミドとも呼ばれているアミド系の化学物質です。市販品の含有量は10～30%（重さ/体積%）。目安として、濃度30%だと8時間有効ですが、10%だと2時間しか効きません。

(3) イカリジン（Icaridin）を含む忌避剤：ディートより後に開発されたディート類似品です。イカリジンの知名度が低いせいか、ディートフリー（またはDF）とも呼ばれています。含有量は5～15%（重さ/体積%）。15%でディートと同程度の効果があります。イカリジンは繊維や樹脂を傷めにくい特長があります。

(4) ヒル専用：ヒルノック、ヤマビルファイター、ヒル下がりのジョニー、タイガーバーム（塗り薬）、など。ヤマビルファイターの成分はディートですが、その他の忌避剤の成分は不明です。残留臭についての情報も集めていません。

(5) 忌避剤の使い方：登山靴や靴下部分に噴霧するとよいです。ヤマビルの多いところでは露出している肌にも噴霧しましょう。首筋などは手のひらに一度噴射してから、肌に塗るのも方法です。うるさいハエなども近づかなくなります。スプレーの芳香成分が鼻につきますが、残留臭はディートのアミド臭です。一方、イカリジンは蒸気圧が低くディート特有の嫌な臭いはしません。肌にスプレーした場合、下山後、石鹸でよく洗い落としてください。

(6) その他の方法：ストッキングやズボンの裾を靴下の中に入れる、などもある

効です。

(7) 身体についてヤマビルの除去：(動画 8b) ミントタイプの全身用化粧水、日焼け止めスプレー、スプレー式鎮痛消炎剤（エアーサロンパス）などをかけると瞬時に落ちます。なお、ハッカ油、食塩、食塩水なども効果的ですが、ハッカ油はベタつくし、食塩は繊維や金具部分の劣化につながるため、水で洗い流してください。

(8) おすすめの動画：

(a) 山と溪谷 ch., 登山者のためのヤマビル対策 (14分07秒)

https://www.youtube.com/watch?v=XZ6JvoryO_M

(b) 低山ハイカー英武ゆう, 登山中のヒル対策知っておこう (16分24秒)

<https://www.youtube.com/watch?v=bAymwNhCB-U>

(YK)